

クリスマスコンサート 琉球大学管弦楽団による癒しのひととき

2018年12月3日(月)19時~20時 病院2階外来ロビーでクリスマスコンサートが開催され、患者さんやご家族の皆さまが癒されました。琉球大学管弦楽団の皆さまに感謝！



司会 迫田 祐司



永木 瞭



藤田 次郎 病院長 挨拶



永木瞭（工学部・チェロ）

「チェロの、または弦楽器のアンサンブルを通して、弦楽器の美しさを感じていただけたらと思い、今回のプログラムとしました。たくさんの拍手をいただき自分たちの励みにもなったので、また来年も演奏させていただければと思います。ありがとうございました。」

大城聖音（教育学部・ヴァイオリン）

「琉大病院での演奏は初めて、緊張が音に出てしまったのが少し心残りでした。でも、多くの患者さんが足を運んでくださったのがうれしかったです。一日も早く患者さんが元気になって退院できることを願っています。」

村元幸（農学部・ヴィオラ）

「聞き手との距離が近くとても緊張しましたが、演奏後に皆様の拍手をいただけ、とてもうれしく思いました。」

石木夏実（工学部・ヴィオラ）

「大学でヴィオラを始め、まだまだ未熟な部分も多く、とても緊張しました。演奏後にいただいたたくさんの拍手がとてもうれしかったです。これからも日々練習に励んでいきます。皆様本当にありがとうございました。」

祖慶泰斗（理学部・チェロ）

「人前で演奏することはすごく緊張しましたが、このような経験は実力の向上において大切なものだと思います。これからもより多くの人に良い演奏をお届けできるよう、日々の練習に励んでいこうと思います。」

小平明生（人文社会学部・チェロ）

「楽器経験の浅いうちに、人前で演奏する機会をくださったことに感謝します。つたない演奏ではありましたが、少しでも皆さんの心に響いたのであれば幸いです。」

大濱義純（法文学部・コントラバス）

「この度は貴重な演奏機会を用意していただき誠にありがとうございます。人前での演奏に緊張してうまく弾けなかった箇所もありましたが、楽しんでいただけたら幸いです。今回の経験を糧に12/24の定期演奏会も頑張ります。」

前原彩菜（教育学部・フルート）

「皆さんが温かい雰囲気の中で聴きにきてくださったので、とても楽しんで演奏することができました。ありがとうございました！」

與那嶺沙季（理学部・クラリネット）

「とても楽しく演奏させていただきました、ありがとうございました！」

仲間辰樹（理学部・ホルン）

「今回はサンタ帽をかぶっての演奏で、僕はホルンにも帽子をかぶせて楽しく演奏することができました。聴いてくださった皆様にもクリスマスの雰囲気を感じていただければ幸いです。」

迫田祐司（工学部・トランペット）

「ちょっと失敗してしまいましたが、いいアンサンブルの練習になりました。来年はもっとカッコよく演奏できるよう精進します。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。」

渡辺紘基（工学部・トロンボーン）

「あまり人前で演奏する機会がないのでとても緊張しました。来年はもっと上手に演奏できるようにがんばります！」



琉球大学管弦楽団の学生の皆さま、ありがとうございました。

今日は、午後6時から中庭のクリスマスイルミネーションの点灯式があり、それに引き続いてのクリスマスコンサートという不思議な日でした。管弦楽団という言葉の中には、「楽」という字が入っています。また「音楽」という言葉にも「楽」が含まれています。今日、演奏していただいた学生の皆様は、元々は、「音を楽しむ」というところからスタートしたのだと思います。その後、練習を重ね、「音で聴衆を楽しませる」という「楽団」の域まで到達しつつあるという段階ではないでしょうか。その楽団の皆さまは、本日、「音で聴衆を癒す」という新たな領域に挑戦したのではないかと考えます。それが可能となったのは、目の前に琉球大学医学部附属病院に通院中、または入院中の患者さんが聴衆だったことが最も大きな要因です。病院長として、琉球大学の学生の皆様には、今後とも、「音で聴衆を癒す」という気持ちで演奏を続けて欲しいと願っています。本日のボランティア活動の皆さまにも感謝いたします。

さて本日の管弦楽団の演奏には様々な楽器が登場し、これらの楽器がハーモナイズして素晴らしい音楽を奏でていました。演奏を聞いていて、病院の業務も管弦楽団に似ていると感じました。弦楽器で例えると、最も大きな楽器であるコントラバスは事務方であり、しっかりと病院のインフラを支えています。またチェロは医師とか看護師でしょうか、ビオラが薬剤師さん、バイオリンが栄養士さん、などとも捉えられると感じました。

管楽器の演奏で例えると、勇壮なトランペットは外科医、やわらかく、しかもしゃきしゃきしているフルートは看護師長さん、またホルンは理学療法士さんや検査技師さんでしょうか。事務方であるコントラバスがここでもしっかりと演奏を支えていました。

病院業務においても、様々な職種がハーモナイズして、患者さんの病気を治すために努力しています。ただし、時に不協和音が入ることも今日の演奏と同じです。

琉球大学医学部附属病院においては、12月にあと3回演奏会を企画していますので、お楽しみいただければと存じます。ただし早く病気を治して、退院することが最優先であることは言うまでもありません。本日御参加いただいた聴衆の皆さまに心から感謝し、本日の演奏会の閉会の挨拶いたします。

2018年12月3日（月）琉球大学医学部附属病院長：藤田次郎



♪ Program : ジングルベル, 銀河鉄道 999, Christmas Festival, Christmas Album, 童神
Top of the World, Andante Festivo, 歌劇《カルメン》よりハバネラ et

Vn. 大城 聖音 Va. 村元 幸 Cb. 大濱 義純 Fl. 津曲 しいな Vc. 永木 瞭, 小平 明生
Cl. 與那嶺 沙季 Hr. 仲間 辰樹 Tp. 迫田 祐司 Tb. 渡辺 紘基

主催：琉球大学管弦楽団

共催：一般財団法人 徳明会、琉大病院介護支援ボランティアの活動支援プロジェクト



18時：病院中庭のクリスマスイルミネーションの点灯式



病院中庭のクリスマスイルミネーション